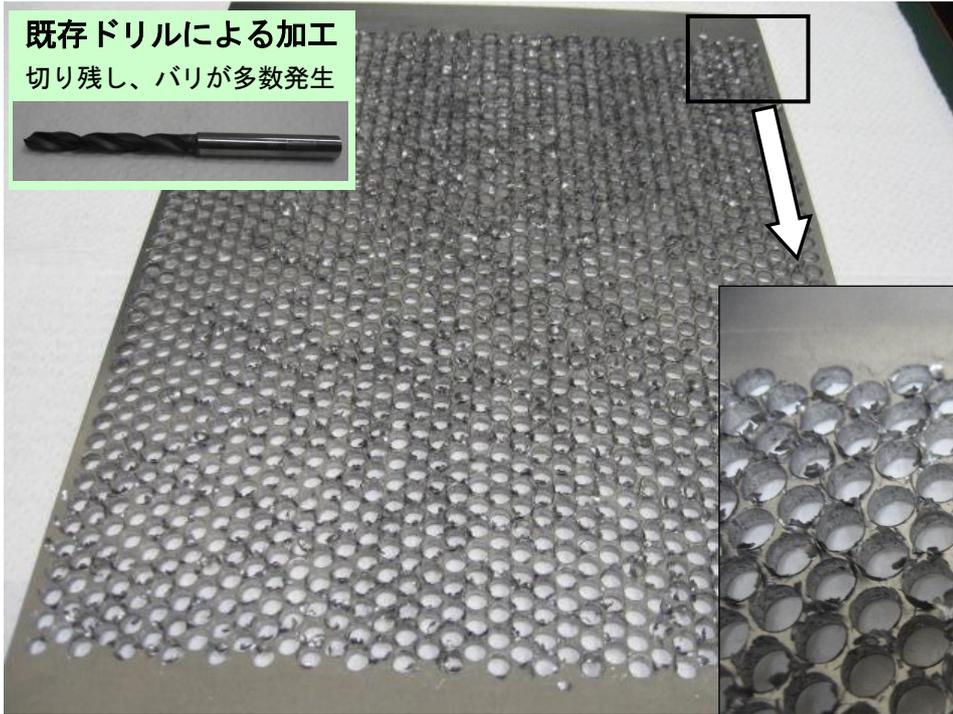
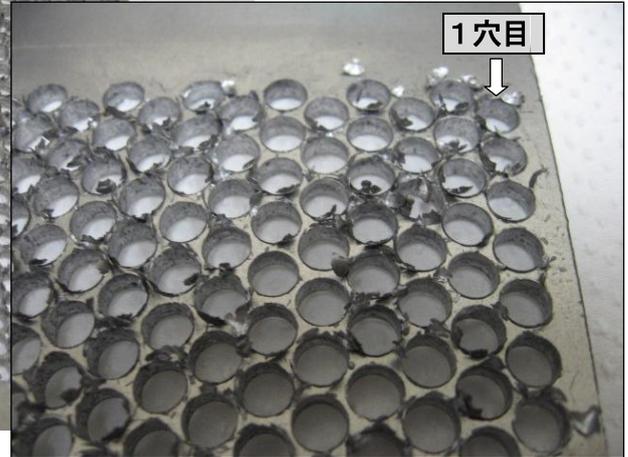


A5052 アルミ板（板厚 3mm）への連続穿孔試験結果

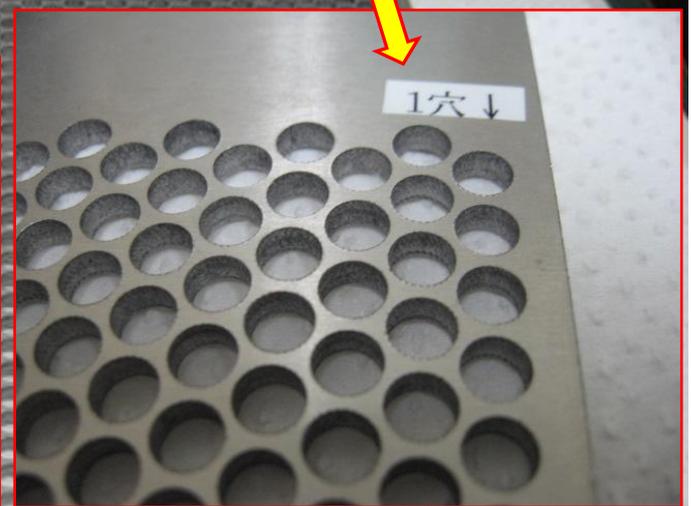
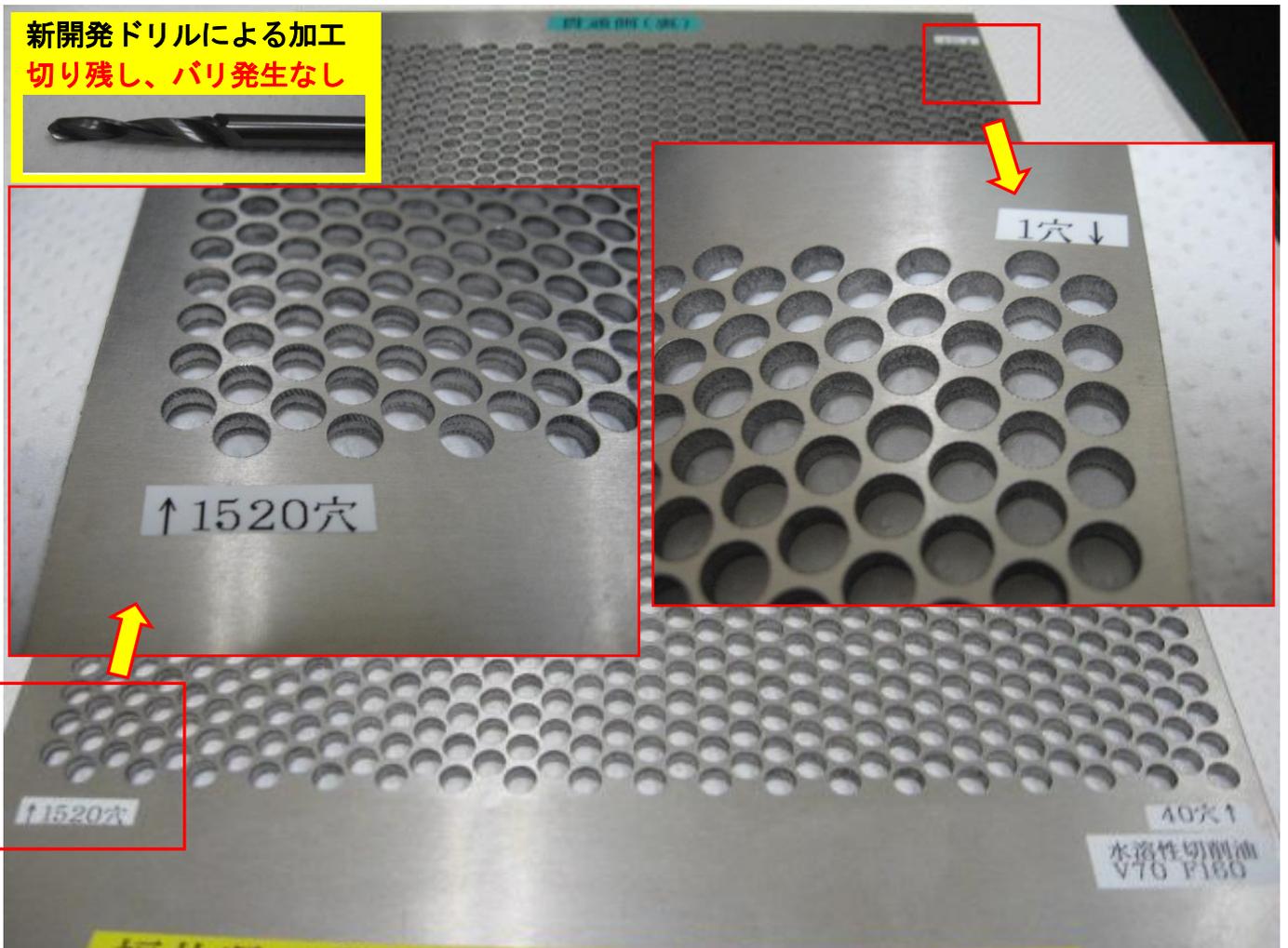
既存ドリルによる加工
切り残し、バリが多数発生



「バリ」とは
穴あけ、切断、切削加工を行う際に、
加工面に発生する突起。
ヤスリや専用のバリ取り工具等で
除去する。



新開発ドリルによる加工
切り残し、バリ発生なし



40穴↑

水溶性切削油
V70 F180

参考：ドリル形状の違い

従来ドリル

全体が直線状、刃部は先端部のみ



新開発ドリル

3つの部位からなるハイブリッド構造

- ・先端部（穴を開ける）
- ・テーパードミル部（穴を拡げる・バリを除去する）
- ・ストレートリーマ部（穴の壁面を滑らかに整える）

